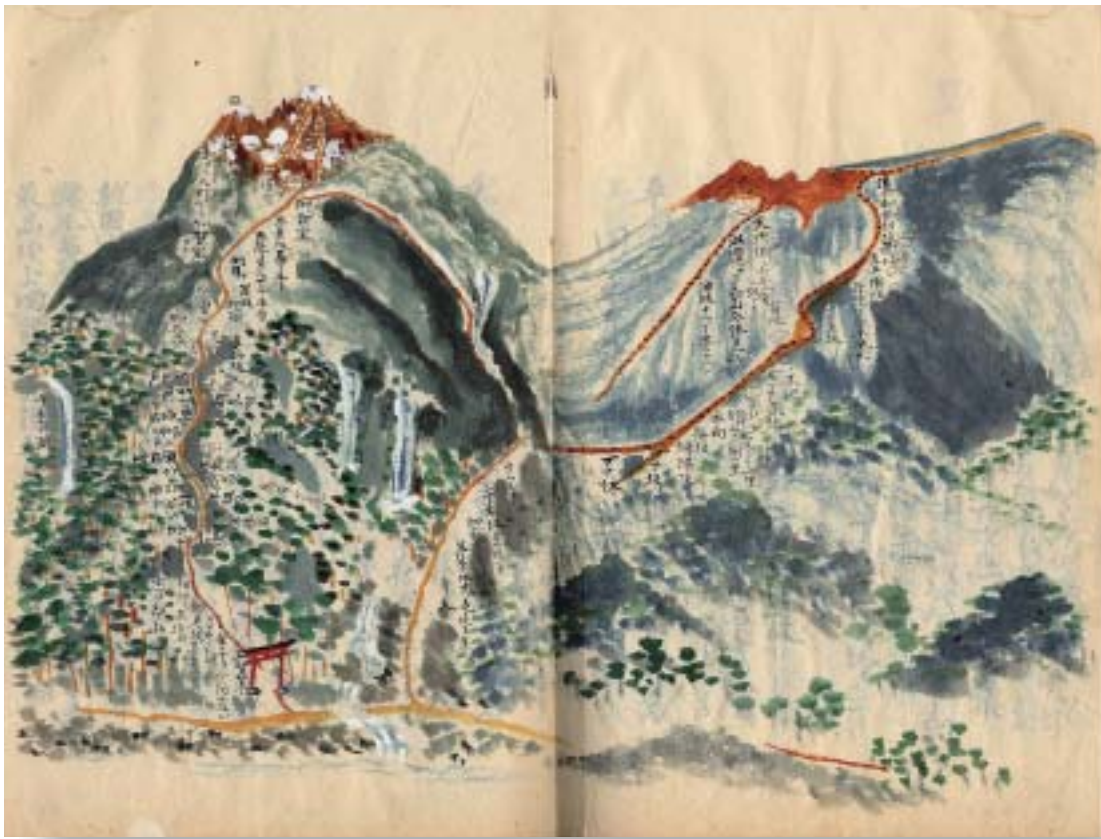


文書館だより

Fukui Prefectural Archives



高田保浄「続白山紀行」(1883年 X0142 山内秋郎家文書)

第7号目次

閲覧室展示紹介	2
「福井県復興宝くじ」	3
寄贈・寄託資料紹介	4
活動報告	6
お知らせ	8

第7号

2006.3

福井県文書館

◆◆ 閲覧室展示紹介 ◆◆

「白山紀行 -ふくいからの参詣記録」

今回のテーマは白山にスポットを当て、1685年(貞享2)の越前国絵図(松平文庫 福井県立図書館保管)に描かれた白山や白山の頂上が見える地域、禪定道(ぜんじょうどう)や参詣道を示す地図をそれぞれパネルで紹介しています。

白山は、古くから広範な地域の人々の信仰対象とされ、越前・加賀・美濃からそれぞれ修行のための禪定道が開かれました。江戸時代中期を過ぎると白山は一般の人々の参詣や湯治の場となっていき、禪定道はその起伏の激しさゆえ敬遠され、勝山から谷峠越えの道が利用されるようになりました。こうした白山参詣の広がりの中で書かれた福井藩士の紀行文も紹介しています。

閲覧室内では、「越前国名蹟考」(井上翼章 1815年 文化12)や「白山全上記」(加賀成教 1830年 文政13)、「続白山紀行」(高田保浄 1833年 天保4)がカラー複製本で自由に御覧いただけます。また、展示に関する詳細なパンフレットも用意しております。

御来館を心よりお待ちしております。



井上翼章「越前国名蹟考」(部分)1815年(文化12)
松平文庫(福井県立図書館保管)



越前国之図(部分)1685年(貞享2)
松平文庫(福井県立図書館保管)

Cover Photo Story

表紙写真: 「続白山紀行」(1833年(天保4)X0142 山内秋郎家文書)

「続白山紀行」は、高田保浄が中根雪江に誘われて1833年(天保4)7月に白山に登った時の見聞がもとになっています。山内家文書の「続白山紀行」は、劔神社の禰宜であった上坂津右衛門が1941年(昭和16)に筆写したものです。津右衛門は絵心もあり、写本とはいえ実に美しい風景や勝山などの地図が処々に描かれています。

展示室には山内家の「続白山紀行」の他に、国文学研究資料館のもので、大正時代に福井市内の高田家に伝存していたものを影写した写本も複製本として展示しています。

ぜひ、来館していただき、この2つの「続白山紀行」を比べてみてください。



◆◆ 歴史的公文書紹介 ◆◆

「福井県復興宝くじ」

(61 内務部総務課 1946年)

今回ご紹介する公文書は、粗悪な紙で作成され、文字もかすれかけている「福井県復興宝くじ」です。この紙の質からも、戦災からの復興途上である当時の様子がかがえませんが、福井県はこの戦後復興の一助として、1946年（昭和21）に都道府県の取組みとしては全国初の宝くじの発行を行いました。

「ふくふくくじ」と呼ばれたこの宝くじは、公文書に残る発行計画によると、発行総額2,000万円、5,000通1組として400組（200万通）が発行予定で、1枚の売価は10円でした。

気になる賞金は、各組共通で1等 1,000円 5本、2等 100円 30本、3等 20円 200本、4等 5円 1,000本となっています。また、当初はその他に自転車チューブ其他10本、石鹼（1個）1,000本という時代性を感じられる景品も計画されていたようです。ただ、この景品については見直しも行われたようで、実際に自転車チューブや石鹼が当たったかどうか定かではありません。

宝くじの収益金は、復興資金として県営住宅および福井市と敦賀市の被災者・引揚者用市営住宅の建設費用の一部とすることが決定されています。

当時の新聞によると、実際の売上げは予想よりも低調だったようですが、「復興宝くじ」の事業はその後、1948年（昭和23）の福井震災と水害を経て同年度から翌49年度にも行われており、震水災復旧事業の財源の一部となりました。



震災後に発行された復興宝くじ
(福井県立歴史博物館蔵)



61-1 福井県復興宝くじ発行計画

今年度公開公文書の紹介 (2月現在)

今年度は新しく1,646冊の公文書を公開しており、次のような資料を閲覧していただけます。

番号	作成部課	完結年度	表題
● 1	総務部秘書課	1968年	明治百年記念行事
● 52	総務部地方課	1968年	西谷村豪雨災害
● 134	商工労働部観光課	1971年	青少年旅行村（整備計画）
● 135	商工労働部観光課	1973年	越前の里郷土資料館（建築工事）
● 1363	総務部管財課	1973年	福井医科大学設置整備計画書
● 1415	企業局工務課	1968年	真名川発電所（設計図）
● 2256	土木部計画課	1971年	都市計画基礎調査・武生市 No.1
● 2757	教育庁保健体育課	1968年	選手強化事業補助
● 2962	企画部企画調整課	1971年	山村振興計画
● 13428	厚生部医務業務課	1973年	化粧品基準（原料）第一版

◆◆ 寄贈・寄託資料紹介 ◆◆

寄贈資料紹介

今年度も県内外の資料所蔵者の方々から貴重な歴史資料の寄贈を受けました。お礼を申し上げるとともに、前号に引き続き、ここでご紹介いたします。(2月末日現在)

桜井市兵衛家文書 (N0055)

「若州三方郡之内世久見浦御検地帳」(1588年 天正16) 1点を寄贈されました。当家は世久見浦の枝浦である食見(しきみ)浦の庄屋を務めており、他にも塩関係などの文書などを有しています。三方上中郡内の浦方の太閤検地帳はこれしか残されていません。なおこの文書は、『福井県史』資料編8に記載されています。またこの文書の写しが渡辺市左衛門家(N0062)にあります。



「若州三方郡之内世久見浦御検地帳」
(1588年 天正16)

荒井美治家文書 (J0126)

当家は1908年(明治41)に平地羽二重を主要製品とする荒井機業場を創業しており、大正期には製糸場も営んでいました。また、当主は47年(昭和22)4月の新憲法下第1回の勝山町議員に当選しています。寄贈資料は、機業・製糸業関係や町会議員選挙関係など54点です。大正末期の繭売買帳からは、当時の繭・生糸の売買の実態をうかがい知ることができます。



「繭売買帳」
(1921年 大正10)

山内秋郎家文書 (X0142) 追加

昨年度寄贈された越前町(旧織田町)の劔神社関係等の文書である山内秋郎家の追加寄贈資料です。秋郎氏の日記や写真などの他、明治期の教科書類418点を寄贈されました。

教科書は、国語、歴史、地理・地誌、理科、修身など404点あり、中には地域限定版の教科書も含まれています。



明治期の教科書類

寄贈・寄託について

寄贈とは資料の所有が当館になることです。寄託とは、資料を一定期間文書館に預けていただき、管理を任せていただく制度です。寄贈・寄託された資料は、くん蒸して殺虫し、温湿度の管理された書庫内に保管します。そして、資料の目録を作成し、県民の利用に供します。歴史的な資料をお持ちの方で、保存管理に困っておられる方は当館に御相談ください。

◆◆◆ 寄贈・寄託資料紹介 ◆◆◆

寄託資料紹介

■古谷九兵衛家文書 (C0124)

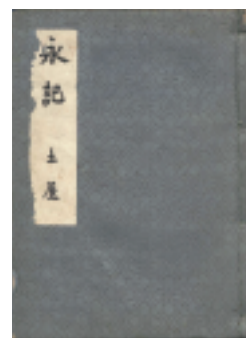
当家は九兵衛を名乗り、長畝村(坂井市)の庄屋や戸長、村会議員を務めており、年貢勘定目録などの村方文書や税金関係などの戸長役場文書376点を寄託されました。その中には、近隣の村々との用水争論に関する資料や1881年(明治14)の福井県成立前後の石川県・福井県の布令綴、90年に実施された第1回衆議院議員選挙についての通達など興味深い資料が含まれています。



「宗門御改帳」(1861年 文久1) ▶

■土屋豊孝家文書 (C0044) 追加

当家は代々次郎左衛門または権右衛門を名乗り、1694年(元禄7)から1705年(宝永2)まで組頭(大庄屋)として近隣に重きをなし、明治期にも戸長や村長を務めています。2003年度に1,216点の資料が寄託され、今回「越前国坂北郡前谷村御検地帳」(1598年 慶長3)、「永記」(1749年 寛延2)の2点を追加寄託されました。「永記」には当家の由来が書かれており、それによると当家は朝倉氏と関わりがあったと伝えています。



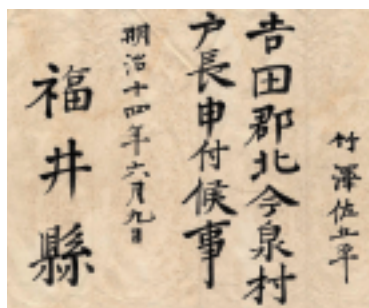
「永記」(1749年 寛延2) ▶

■竹澤信剛家文書 (A0041)

当家は左五平を名乗り、福井市北今泉村の庄屋や戸長を務めています。寄託資料は241点で、年貢米取立帳や五人組帳などの村方文書がまとまって残されています。

1831年(天保2)の「森(盛)帳」からは、当村において100石を超える高持百姓が3人いたことがわかります。

また、福井県が置かれた1881年(明治14)の戸長の辞令も残されており貴重です。



◀「戸長辞令」(1881年 明治14)

新たに公開した古文書紹介！

前号紹介後に新たに公開、あるいは近日中に公開できる古文書(目録、複製本)は次の通りです。

(寄贈寄託文書は除く)

- A0011 中林茂左衛門家文書 福井市
- A0014 上一光区有文書 福井市
- A0015 藤井鈴江家文書 福井市
- A0042 西雲寺文書 福井市
- A0043 中野定路家文書 福井市
- A0044 島田家文書 福井市
- A0061 了勝寺文書 福井市
- A0070 宿布区有文書 福井市
- A0088 福井市医師会 福井市
- A0089 福井県医師会 福井市
- A0164 大道昭仁家 福井市
- A0506 渡辺利昭家文書 福井市
- A0510 山口茂家文書 福井市
- A0514 藤田繁家文書 福井市
- A0515 杉田七兵衛家文書 福井市
- A0516 松本太郎兵衛家文書 福井市
- A0520 小林与三右衛門家文書 福井市
- A0522 錦織三郎左衛門家文書 福井市
- E0025 田中甚兵衛家文書 武生市
- G0024 飯田広助家文書 追加 池田町
- G0042 仲井伊斐衛家 池田町
- H0011 金柏区有文書 南越前町
- H0034 後藤市兵衛家文書 南越前町
- I0029 木本領家区有文書 大野市
- I0068 瀧波家文書 大野市
- J0031 伊知地区有文書 勝山市
- J0043 笠松平左衛門家文書 勝山市
- J0126 荒井美治家 勝山市
- K0041 森孝利家 福井市
- X0553 東京大学農学部図書館 東京都

◆◆活動報告◆◆

講演会

「泰澄と白山信仰」

開催日：平成18年2月12日(日)
開催時間：13:30～15:00
講師：本郷真紹氏(立命館大学文学部教授)
場所：図書館多目的ホール

講演では、『泰澄和尚伝記』に基づき、泰澄の生涯について説明されました。また、季節により変貌する高山のイメージが十一面観音と重なることなど興味深い話もありました。最後に、古代においては日本海沿岸地域こそが表日本であり、大陸から多くの人々が渡来し文化を伝えたため、この地域において神仏混交の端緒が見受けられ、それが国家の仏教政策の大義名分となったということを熱く語っておられました。

講演会には188名の方が参加し、興味深く熱心に聞いておられました。



特別 県史講座

「由利公正と坂本竜馬」

開催日：平成17年8月27日(土)
開催時間：13:30～15:00
講師：木村幸比古氏(霊山歴史館学芸課長)
参加者：116名



平成18年度も内容新たにさまざまな講座を開催いたします。
前期の講座につきましてはP8に紹介してあります。
皆さまの受講をお待ちしております。

県史講座

第1回「白山への参詣道

—越前禅定道の調査を通して—

開催日：平成18年2月4日(土)
開催時間：13:30～15:30
講師：宝珍伸一郎氏(勝山市教育委員会)
参加者：110名



県史講座

第2回「古代武生盆地が担った 国家的役割」

開催日：平成18年2月19日(日)
開催時間：13:30～15:30
講師：真柄甚松氏
(越前市教育委員会)
参加者：59名



講座

古文書解読講座

開催日：平成17年9月30日(金)、10月7日(金)、
10月14日(金)
開催時間：13:30～15:30
講師：文書館職員
参加者：35名

今回は新たな試みとして、「越前国今立郡東俣村鑑」「寺請判ニ付問答の覚」「妻離縁申分内済証文」の3つの資料を用意し、それぞれグループにわかれて読みあっていたいきました。最終日には、それぞれのグループから報告をしていただきました。

この講座の成果は、文書館ホームページに翻刻文が紹介されています。



◆◆ 活動報告 ◆◆

■「文書館探検隊」の実施

平成17年9月17日に敬老の日の企画として、おじいちゃん、おばあちゃんとお孫さんを対象とした「文書館探検隊」を実施しました。参加者には「この写真は今のどこでしょう？」や「この写真は文書館内のどの部屋でしょう？」といった8つの質問が書かれた紙と館内地図を渡し、制限時間を設けて取り組んでいただきました。「おじいちゃん、これどこ？」「これはな。」などおじいちゃん、おばあちゃんとお孫さんが協力しながら楽しく取り組んでいました。



探検隊の参加者の様子

参加者からの感想

- 昔の写真が見られてよかった。クイズが楽しかった。
- また参加したい。
- 普段絶対見ることができない文書館の中を見られて、とても勉強になりました。
- こんな企画をもっとやってほしい。

第31回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 全国（福井）大会及び研修会が開催されました！

平成17年11月9日（水）～11日（金）、福井市の国際交流会館で全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会が開催されました。

今大会のテーマは「アーカイブズの新時代へー現場からの提言ー」で、全国各地より251名の方が参加し、研修会や研究会などで熱心な討議が行われ、情報交換なども積極的に行われていました。

また、11日の視察では136名の方が参加し、平成15年に開館した福井県文書館（当館）を見学し、資料の整理の方法や許諾の方法など熱心に質問していました。



健康長寿な
福井です。

お知らせ

講座のご案内

■ はじめての方に「古文書入門講座」

平成18年5月27日(土) 6月3日(土)
1330~15:30 定員40名(要申込み)
講師：文書館職員
会場：文書館研修室

■ 少し経験のある方に「古文書初級講座」

平成18年6月17日(土) 6月24日(土)
1330~15:30 定員40名(要申込み)
講師：文書館職員
会場：文書館研修室

■ 資料保存研修会

平成18年7月6日(木)
1330~15:30 定員40名(要申込み)
講師：金山正子氏
((財)元興寺文化財研究所主任研究員)
会場：文書館研修室

● いずれも無料。問い合わせ・申込みは文書館まで

記録資料は貴重な財産です。

家の建て替え・蔵の取り壊しなどで資料の処分を検討されていたり、保存方法がわからずに資料の扱いに困っておられる方は文書館までお知らせください。



文書館だより Fukui Prefectural Archives 第7号

平成18年3月20日発行
編集・発行 / 福井県文書館
〒918-8113 福井市下馬町51-11 電話 0776-33-8890 FAX 0776-33-8891
ホームページアドレス <http://www.archives.pref.fukui.jp>
電子メールアドレス bunshokan@pref.fukui.lg.jp

ご利用案内

■ 開館時間

午前9時から午後5時まで

■ 休館日

月曜日(国民の祝日は除く)

国民の祝日の翌日(土、日、祝日は除く)

文書等点検期間(年間10日以内)

年末年始(12月28日~1月4日)

清掃整理日(12月以外の第4木曜日、祝日の場合は翌日)



フレンドリーバス(無料)のご案内

運行日：毎週月曜日、年末年始(12.28~1.4)を除く毎日のりば：市内バス5番のりば

経路：福井駅前~福井駅東口~高志高校前~羽水高校前~生活学習館~市美術館~県立図書館(県文書館)
(高志高校、羽水高校では、行きは乗車のみ、帰りは降車のみ可能です。)

運行時間：平日8:30~19:00 土日祝8:30~18:00

運行間隔：30分間隔

(5番のりば、県立図書館ともに毎時00分、30分発)

使用車両：路線バスタイプのバス2両で、

1両は車椅子用自動リフト付きです。

1両はノンステップバスです。

編集後記

今年の冬は記録的な大雪となりました。閲覧室において、企画展示以外にもミニ展示として38豪雪や56豪雪の時の写真も展示しています。あわせてご覧ください。



健康長寿な
福井です。